



Grandphalt R

# グランファルト R

ポリマー改質アスファルト I 型

グランファルト R はポリマー改質アスファルト I 型の規格に適合するプレミックスマイラーです。  
耐摩擦性に優れ、舗装の長寿命化に貢献します。

## 主な適用箇所

- ✓ 一般交通道路
- ✓ 耐摩耗対策が必要な箇所

## 製品性能と特長

- ✓ **塑性変形抵抗性**  
ストレートアスファルトに比べ、軟化点やタフネス・テナシティが高く、塑性変形抵抗性に優れます。  
わだち掘れを抑制します。
- ✓ **優れた貯蔵安定性**  
専用のアスファルトと厳選した添加剤配合技術により、アスファルトとポリマーが分離しにくく、安定した混合物性能を発揮します。

## 品質レベル

- ✓ 日本改質アスファルト協会 (JMAAS-01) ポリマー改質アスファルト I 型
- ✓ 日本道路協会 舗装設計施工指針 (平成 18 年度版) ポリマー改質アスファルト I 型

## 代表性状\*1

項目	単位	グランファルト R	標準的性状*2
軟化点	℃	63.0	50.0 以上
伸度 (7℃)	cm	41	30 以上
タフネス (25℃)	N・m	28.0	5.0 以上
テナシティ (25℃)	N・m	21.3	2.5 以上
針入度 (25℃)	1/10 mm	47	40 以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.06	0.6 以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	74.5	65 以上
引火点	℃	338	260 以上
密度 (15℃)	g/cm <sup>3</sup>	1.035	試験表に付記
推奨混合温度	℃	170~176	試験表に付記
推奨締固め温度	℃	160~176	試験表に付記

\*1 代表性状は製造時の許容差異を含んだ代表値です。製品の改善のため、予告なく変更する場合があります。

\*2 日本道路協会 舗装設計施工指針 (平成 18 年度版) ポリマー改質アスファルト I 型の標準的性状

## 販売荷姿 : バルク

### 使用上の留意点

ご使用にあたっては、事前に安全データシートを (SDS) をご覧ください。

取扱上の注意	貯蔵温度は 180℃以下とし、貯蔵期間は 1 週間を超えないように注意してください。 貯蔵や溶解時にヒーターやバーナー等による局部加熱を受けるとアスファルトバインダーが変質する恐れがあります。
安全上の注意	溶解したアスファルトに触れるとやけどを負う恐れがあります。作業時は作業着、保護面、保護眼鏡、保護手袋、その他保護具を着用してください。溶解したアスファルトの蒸気を吸引すると気分が悪くなる恐れがあります。室内でアスファルトを加熱する場合はマスク等 を着用し、換気を行ってください。溶解したアスファルトに水を近づけないでください。溶解したアスファルトが飛び散り、やけどを負う可能性があります。溶解したアスファルトは引火する可能性があります。着火源を近づけず、万が一着火した場合、粉末または炭酸ガス消火器 を使用してください。

本資料は事業者様向けに作成されたものです。本資料に掲載された技術情報は弊社で確認した代表的動作を説明するものです。混合物試験

## お問い合わせ

出光興産株式会社 先進マテリアルカンパニー 機能舗装材事業部

アスファルト販売課 (東日本) 03-6870-6587

アスファルト販売課 (西日本) 06-7711-1271

受付時間 9:00~17:30

土・日・祝祭日、12月29日~1月3日、5月1日、6月20日 (当日が日曜日の場合は翌営業日が振替休業日) を除く